

とうざん



有田町立有田小学校 校長 松尾 寛



雨に濡れる夏向花

梅雨に入り、校内で過ごす時間が多くなりそうです！

今週、北部九州の梅雨入りが報じられました。例年より早めの梅雨入りで、登下校の際に傘を差したり休み時間など校内で過ごしたりすることが多くなりそうです。6月の全校朝会で、生徒指導担当の加藤先生から、今月の有田っ子プライドとして、廊下は右側を静かにあることや、前が見えるように傘を差すこと、人や車両に傘が接触しないように扱うことなどの話がありました。梅雨の時期、児童にケガや事故がないように注意喚起を行っています。どうぞ、ご家庭でもお声かけをお願いします。



加藤先生の話をお聴く子ども達

有田っ子のすばらしさが評判です！

全校朝会の最初に紹介し、全校児童でそのすばらしさを称賛しました。それは、登下校の際に、稗古場橋の信号機がない横断歩道を渡っている児童が、止まってくれた運転手さんに一礼をしている姿がすばらしいと、毎朝、通られている方からお褒めのことばをいただきました。私も昨年度から朝の交通指導をする中で、そのすばらしさを感じていました。交通ルールでは横断歩道で人が居たら、運転手は止まらなければいけません。歩行者の感謝の気持ちが伝わると、運転手も次も気をつけて止まるし、ひいては交通事故防止につながります。



他の地区でも保護者の皆さんが子ども達に教えてもらっていると思います。稗古場橋の横断歩道を渡る子ども達の姿が、通行される大人の目にとまり、見える化している典型だと考えます。あいさつや横断歩道を渡る際の姿ができていく校区では、交通事故や不審者による声かけが少ないというデータも報告されています。有田っ子の行いの「見える化・聞こえる化」が進むことで、これからも有田町が安心、安全な町であり続けることを願っています。

→横断歩道を渡った後に一礼をする6年生の姿がすばらしい

世界の水事情と、水道水のありがたさ！

今月の全校朝会での話を、養護教諭のアルボ先生にお願いしました。アルボ養護教諭は、以前、青年海外協力隊の一員としてアフリカのガーナに保健指導で派遣されています。昨年度、町内で発表された講演を聴き、ぜひ、子ども達にも聴かせたい、すばらしい内容でした。

雨が多く、豊かな水に恵まれている我々の生活が当たり前では無く、世界には飲み水に困っている国や人々がいることを話してもらいました。どうぞ、お子さんを通じて、アフリカのガーナの人々の暮らしや、飲み水のことを聴かれて下さい。お子さんのすばらしい聴き方が見える化するでしょう。



井戸の水を汲んで運ぶガーナの子も達

みずのくにすく
きれいな水が飲める国は少ない。

